

## 総合部会（第1回・第2回）の審議経過について

### 1 主な審議内容

- (1) 第1回（2月18日開催）
  - ・新しい計画の基本的な考え方と目指すべき方向性
  - ・計画の構成
- (2) 第2回（4月26日開催）
  - ・基本理念
  - ・3つの目標と将来像
  - ・基本戦略及びいばらきモデル推進プロジェクト

### 2 主な意見

- (1) 基本的な考え方について（第1回）
  - ・雇用の創出や経済的自立が果たせることが必要。
  - ・産業や観光を含めアジアとの関係をどのように考えるかが重要。
- (2) 計画の構成について（第1回）
  - ・県民に分かりやすくすっきりさせることが重要。
- (3) 基本理念について（第1回，第2回）
  - ＜第1回＞
    - ・生活の重視，量から質への転換を基本理念として据えるべき。
    - ・夢や希望があるような基本構想（基本理念，将来像等）を示すことが重要。
  - ＜第2回＞
    - ・（事務局が提示した基本理念である）「協創と貢献」については賛否様々な意見があり，ひとまずこれを大事にしながら副題や目指す姿をよく吟味し，その上で「協創と貢献」を掲げるのか，単語ではなく文章としてまとめるのかを検討する。
- (4) 3つの目標と将来像について（第1回，第2回）
  - ＜第1回＞
    - ・目指すべき将来像や四半世紀を展望したビジョンが必要であり，高い目標を掲げ，取り組んでいくグランドデザインが求められる。
    - ・茨城をどうしたいのかというインパクトのあるイメージを将来像に示していくことが必要。
    - ・若い世代がアジアとの関係を築いていけるような施策や将来像の提示が必要。
    - ・抽象的な基本理念から具体的な将来像や3つの目標の提示が必要。
    - ・「人が輝くいばらき」という目標は「活力あるいばらき」「住みよいいばらき」を支えている。
  - ＜第2回＞
    - ・自分らしさ，生きがいや社会のあり様を反映した端的な表現となるようブラッシュアップしていく。
- (5) 基本戦略及びいばらきモデル推進プロジェクトについて（第1回，第2回）
  - ＜第1回＞
    - ・ブランド確立の取組として，農産品に限らず，生産システムなども含め茨城モデルや茨城生活スタイルといった形で，茨城だからこそできるものを打ち出すべき。
  - ＜第2回＞
    - ・基本戦略は，一つひとつの戦略が独立するのではなく，横断的な取り組みが必要。
    - ・いばらきモデル推進プロジェクトは，重要なものに漏れのないよう時間をかけて検討すべき。各専門部会において新しい項目を含め，部会の審議範囲を超えて検討することとする。